

ファイナルレポート

国際電子部品・製造機器専門見本市
 2024年3月20日～22日
 中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)

2024年3月25日

productronica China 2024:
 インテリジェント・マニュファクチャリング業界の灯台として大盛況のうちに閉幕

Summary

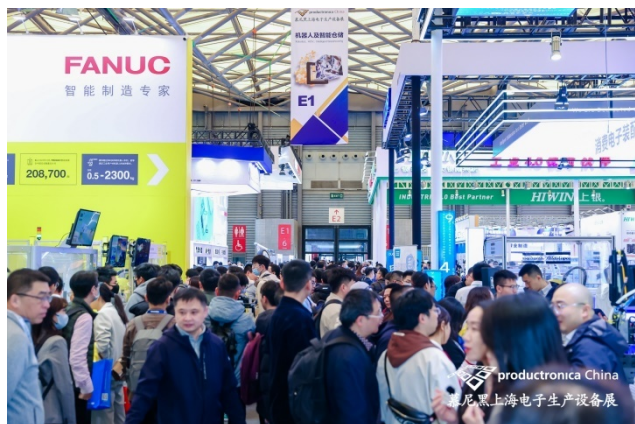
- 904社が出展、業界関係者60,657人が来場
- 展示スペースは約75,000平方メートルに拡大
- インテリジェント・マニュファクチャリングとエレクトロニクス・イノベーション産業チェーンにおけるグローバルな最先端技術と製品のワンストップ紹介



Facts & Data

会 期	2024年3月20日(水)～22日(金) 9時～17時(最終日のみ16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	75,000 m ² (2023年:73,000 m ²)
出 展 企 業	904社 (2023年:822社)
来 場 者 総 数	60,657人 (2023年:70,833人)
主な出展品と 出展技術	<productronicaChina> SMT、はんだ付け技術、検査・測定技術・品質保証、製造サブシステム、製造補給・ マテリアルフロー技術、プリント基板・回路基材装置製造、ケーブル加工技術、コイル 製品、受託製造サービス(EMS)、オーガニック/プリント・エレクトロニクス、部品 製造、各種オペレーティング機器、関連サービス
出展日本企業 (現法出展など含む)	アポロ精工(株)、(株)いけうち、加賀電子(株)、(株)キーエンス、黒田精工(株)、(株)魁半導 体、(株)サンエイテック、山洋電気(株)、(株)シマデン、JUKI(株)、昭興テック(株)、信越化学 工業(株)、(株)シンキー、新明和工業(株)、(株)進和、大同特殊鋼(株)、(株)東京ウエルズ、鍋 屋バイテック(株)、日本オートマチックマシン(株)、日本ベアリング(株)、白光(株)、ピコ(株)、 日置電機(株)、(株)FUJI、富士高分子工業(株)、ファナック(株)、マランツエレクトロニク ス(株)、三井金属鉱業(株)、武蔵エンジニアリング(株)、ヤマト科学(株) ヤマハ発動機(株) ほか(50音順)
専 用 U R L	www.productronica-china.com (英語)

2024年3月22日、3日間にわたって開催された productronica China 2024 は、出展者 904 社を揃え、エレクトロニクス・インテリジェント製造の新製品と新技術を紹介して成功裏に終了した。展示スペースを約 75,000 平方メートルに拡大した今年の見本市には、参加企業数の大幅な増加が見られた。また、Brand New 製品リリースプログラムが新設され、エレクトロニクス製造部門における技術革新と技術交流の促進が図られた。そして、この取り組みは、出展者に業界における新たなビジネスチャンス活用場として好評であった。



重要なこの市場に導くことを願っている」と、満足感を示した。

メッセ・ミュンヘンの CEO Reinhard Pfeiffer は、productronica China 2024 の業界全体への貢献に対して、「企業間のグローバルな交流がますます盛んになるにつれ、国際貿易も急速に進展している。国際企業は、中国市場の成長を大いに期待し、交流準備を進めている。スマート・マニファクチャリングは世界的な潮流となっており、多くの中国企業が将来戦略の一環としてスマートテクノロジーを採用している。インテリジェント・マニファクチャリングは新たな産業革命を象徴するものであり、中国はこの分野において独自の優位性を持っている。それゆえ、当見本市が、世界中の企業を将来的に

デジタル・エンパワーメントとスマート・マニファクチャリングが高度な成長へ推進

インテリジェント・マニファクチャリングは、新たな生産力の展開を加速し、質の高い成長を促進する極めて重要な手段として、全国的に大きな注目を集めている。中国のインテリジェント・マニファクチャリング部門は急速に拡大していて、現在黄金期を迎えている。

メッセ・ミュンヘン上海の中国代表 Evan Sha は、この見本市がエレクトロニクス・インテリジェント・マニファクチャリング業界の発展に果たす役割について、「私たちは、productronica China 2024 がインテリジェント・エレクトロニクス・マニファクチャリング業界の進化するニーズに合致していることを嬉しく思う。私たちは、業界のあらゆる分野の企業ニーズに包括的に応え、革新的な技術の展示と交流を促進するプラットフォームの開発を目指している。出展者の皆さんと協力して、業界のトレンドに沿ったソリューションを探求し、革新的な製品と技術の紹介を通して、業界のデジタル化とインテリジェント化を共同で進めていきたいと考えている」と、強調して述べた。

SMT 業界はインテリジェントな変革に着手

エレクトロニクス製造の中核に位置する SMT 業界は、世界的な製造革新と技術進歩に後押しされるインテリジェントな変革という大きな波を受けている。人工知能、ビッグデータ、クラウドコンピューティング、モノのインターネットなどの技術は、SMT 業界のアップグレードを推進する上で極めて重要な役割を果たしている。productronica China 2024 では、株式会社 FUJI、Mycronic 社、HELLER 社、KURTZ ERSA 社などの有名企業がスマート・ファクトリーソリューションを紹介した。

さらに、Europlacer 社、Kurtz Ersa 社、Koh Young 社といった企業が、コアエリアに位置するスマートファクトリーエリア(ホール E4)で、完全なラインを設けて、辰年マスコットの生産工程をライブで紹介した。来場者はそのプロセスを実際に目で見て理解することができた。

ワイヤーハーネス加工業界は新たな発展を歓迎し、新エネルギー車市場を後押し

電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車、燃料電池車といった新エネルギー車の販売急増に伴って、高性能なケーブルやハーネスの需要が急増している。この動向は、ワイヤーハーネス加工業界にかつてないチャンスをもたらしている。Komax 社、TE Connectivity 社、JAM 社などの大手企業は、新開発の自動ワイヤーハーネス加工装置と生産技術を紹介した。また、ホール C3 にはセントラルパビリオンが設置され、新エネルギー・ワイヤーハーネス加工とコネクタ製造に特化したイベントが催された。

電子機器製造の進展を先導するインテリジェント・インダストリアルオートメーション

インダストリアルオートメーションとそのインテリジェンスは、生産性を向上させるだけでなく、電子機器製造業界における技術革新と新開発の極めて重要な推進力としての役割を果たす。productronica China 2024 には、数多くのインダストリアルオートメーション企業が参加し、電子機器製造におけるスマートファクトリーに特化した一連のソリューションを紹介した。この見本市ではファナック株式会社のような業界大手と並んで、協働ロボットメーカーが出展した。さらに、スマート・ウェアハウジング企業は集中型ディスプレイを通して自社の能力を紹介した。



新エネルギー車の急速な進化が、ディスペンシング技術、クリーンテクノロジー、化学材料産業の勢いを加速

新エネルギー車の性能と安全性に対する要件が高まるにつれ、ディスペンシング技術における精度、信頼性、耐久性の基準にも一層高い要件が課せられている。さらに、正確なシーリングと堅牢な接着を実現するには、接触面の清浄化が不可欠である。productronica China 2024 は、Nordson EFD 社、Scheugenpflug 社、Dow 社などの企業による包括的なディスペンシング技術の展示と技術交流の場となった。出展企業は、接着剤注入、化学材料、洗浄装置などの新技術や新製品を発表し、3C 産業(3C: Computer、Communication、Consumer Electronics)、自動車、医療などのエレクトロニクス業界の顧客に総合的な革新的ソリューションを提供した。

組立自動化と試験・計測の統合が電子機器製造業界の高品質な開発を促進

JUTZE 社を筆頭に、Comet Yxlon 社、アトラスコプコ社、SPI/AOI 社などが生産ライン検査機器と電子組立技術を紹介し、製造効率と製品品質の向上や工場内でのフレキブル生産の促進を推奨した。「マイクロアセンブリ・テクノロジーパーク」は、装置の精度向上と生産歩留まりの向上に特化したエリアである。このエリアでは、Micro LED/Mini LED ディスプレイチップ、携帯電話用マイクロコンポーネント、MEMS デバイス、高周波デバイス、マイクロ波デバイス、ハイブリッド回路など、幅広い分野の機器とソリューションに重点が置かれた。

エレクトロニクス・インテリジェントマニュファクチャリングの今後について高レベルで議論する 9つのフォーラム

会期中いくつかの業界フォーラムが開催され、フレキシブル・プリンテッド・エレクトロニクス、TGV(ガラス貫通電極)先進材料とパッケージング、先進のワイヤーハーネスと接続技術、エネルギー貯蔵、最新のリチウム電池技術といったトレンドトピックスが取り上げられた。さらに、新エネルギー車に焦点を当てたフォーラムも開催された。このように、この3日間の見本市は、ここが業界の知識に関する貴重な情報源であり、深い見識を得る場であることを明確にしている。

productronica China 2024 の成功は、業界に革新的なプラットフォームを提供したことに留まらず、国内外企業間の交流と協業を促進した。今後の業界の繁栄と発展に新たな活力を吹き込むべく、さらなる革新的な製品と技術の発表が大いに期待される。

次回の productronica China は 2025 年 3 月 26 日から 28 日まで SNIEC で開催される。詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで：www.productronica-china.com (英語)

資料請求、各種お問合せ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)